

か い ぎ し ょ

7・8 Jul. & Aug.
2025/No.769



トップの部屋

従業員の幸せが原動力 ガラス加工の無限の可能性に挑む

株式会社ミツル光学研究所 代表取締役社長 山邊 英彦 氏

暑中お見舞い申し上げます

■ 音楽情報 フェスタサマーミュージアKAWASAKI 2025
7月26日(土)～8月11日(月・祝)

■ シネマ情報 劇場版「鬼滅の刃」無限城編 7月18日(金)公開



2025
7・8

CONTENTS

★印があるページは読むことができます。
それ以外のページは本誌でお楽しみ
ください。

event

40

音楽情報

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL
ミュージアム川崎シンフォニーホール

フェスタサマーミュージアム
KAWASAKI2025

7月26日(土)～8月11日(月・祝)

41

シネマ情報

100 CINEMAS



© 吾峠呼世晴／集英社・アニ
プレックス・ufotable

劇場版「鬼滅の刃」無限城編

7月18日(金)公開



2 トップの部屋

従業員の幸せが原動力 ガラス加工の無限の可能性に挑む

株式会社ミツル光学研究所 代表取締役社長 山邊 英彦 氏

7 暑中お見舞い申し上げます

6 会費の納入はお済みでしょうか？



20 会員ひろば

(株)bashment [川崎区]

ライティングオフィス SUDELU(スデル)[高津区]／小林クリーニング[多摩区]

(株)ダイオーズジャパン神奈川セールスセンター[市外]

24 第32回会員ゴルフ大会開催

28 会員サービスに関するアンケートご協力をお願い

34 手塚 誠の法律Q&A

事業者の自己破産手続き

弁護士・当所専門相談員 手塚 誠



36 儲かる！ 商売に役立つ ワンポイント

変化を乗り越えるために、経営者こそ「学び直す力」を

中小企業診断士・当所専門相談員 有村 知里

38 コストゼロでできる！今すぐ試せる求人術

応募効果が飛躍的に高まる「数字」のマジック

(一社)求人広告ライター協会 代表理事 関根 コウ

26 中小企業・小規模事業者向け支援施策のご案内

48 小規模事業者経営改善資金制度

25 生命共済制度をご活用ください

29 CCIレポート

30 新入会員のご紹介

40 イベント

ナンプレ／7・8月の川崎大師



42 情報NOW

中小企業のためのDX事例／トレンド通信

44 ガンバレ！フロンターレ！

45 GO! GO! 川崎ブレイブサンダース

46 川異研通信

32 新会員をご紹介ください

33 会員限定プレスリリースサポートのご案内

37 ビジネス総合保険制度

39 専門相談員制度をご活用ください

50 小規模企業共済

52 オンライン経営相談のご案内

53 女性会 会員募集中！

54 WEBセミナー・研修講座

55 Instagram公式アカウントをご登録ください

56 大人のそろばん教室

57 パソコン教室 受講生募集！

60 会議所行事等予定表・編集後記

□ 会員優待サービス券

■ 審美巡礼(解説 小池富雄／元鶴見大学教授)



■ かわさき発 ぶらり旅

従業員の幸せが原動力 ガラス加工の無限の可能性に挑む



株式会社ミツル光学研究所
代表取締役社長 山邊 英彦 氏

ガラス加工と研磨の技術を磨きながら、時代のニーズに応えてきたミツル光学研究所。光学ガラスやFPD（フラットパネルディスプレイ）用ガラスの加工を基盤に、現在では車載ディスプレイや半導体分野など、最先端の部品製造にも挑んでいる。

昨年、創業70周年を機に企業理念「MITSURU VISION」を策定。自社の技術に誇りを持ち、ガラス加工の可能性をさらに広げていくことを掲げた。その根底には、「従業員みんなが幸せになる会社でありたい」という創業時から受け継がれてきた思いがある。

個の力を尊重し、チームワークを大切にする温かな企業文化が、ものづくりの現場を支えている。

光

学機器の進化とともに 成長

—昨年、創業70周年を迎えられたそうですね。

山邊 現会長・渡邊稔さんの父、博さんが1954年12月27日に杉並区高円寺で創業した会社です。当時の社名は「太陽光学株式会社」でした。創業者は戦前から同所でガラス加工や研磨を行う町工場を経営していたそうです。戦

時中は航空機のパイロットが使用するゴーグル用のガラスなども製作していたと聞いています。戦後は、カメラレンズやフィルターの加工、顕微鏡や双眼鏡に使われるレンズの受注が増えました。その後、コピー機のミラーガラスやラップトップPCの液晶用ガラス、さらに液晶テレビや携帯ゲーム機といったFPD用のガラスの他、スマートフォン用のカバーガラスなどを手がけるようになりました。

—光学機器の進化とともに事業内容も変化してきたのですね。

山邊 そうです。日本の復興や経済成長の時代を象徴するような光学機器やその最新技術にいち早く接し、自社の技術の精度を高め続けてきました。

—川崎に移転してきたのはいつ頃ですか。

山邊 都内の宅地化が進み、工場も手狭になったため、1967年に高津区宮崎に移転し、1971年には高津区向ヶ丘に工場建屋を購入しました。

1969年には「ミツル光学研究所」と改称しました。由来は創業者夫人・ツルさんの名前と、会社に繁栄が「満つる」という意味を掛け合わせ、3羽のツルを組み合わせたロゴマークも制作しました。

その後も何度か移転を重ね、1984年に現在地（宮前区土橋）に自社工場を新築しました。実際の加工や製造は横浜工場（横浜市都筑区）、秦野中井事業所（足柄上郡中井町）、関連会社のエム・ジェイ・エム（茨城県笠間市）などで行っています。



1970年頃の
向ヶ丘工場

竣工当時の秦野中井事業所

F PDと半導体関連部品で高評価

—現在の業務内容を具体的に教えてください。

山邊 FPD関連事業と、半導体関連部品が中心です。その他、AV関連機器部品、事務機装置部品、各種ガラス加工なども手がけています。

FPDは2000年代初め頃からCRT（ブラウン管）に代わって普及し、テレビやスマートフォン、パソコンやタブレット端末などに搭載されています。

半導体関連では高精度のガラスウエハー（半導体ウエハー製造用サポート板ガラス）の提供、フォトマスク基板（電子部品の回路パターンを転写する原版）の加工、膜付き基板の裏面研磨などを行っています。

—業界の動向を教えてください。

山邊 車載ディスプレイの大型化や形状の複雑化が進み、カバーガラスの需要が増えています。車載ディスプレイの高性能化、高付加価値化、複数搭載などによって自動車価値を向上させる動きは今後も続き、成長が見込めます。

欧州市場に向けた自動車のテールランプも増産中です。欧州の高級車ブランドが有機EL照明を採用したためです。有機EL照明の輝度はLEDに劣るものの、デザインの自由度が高く、将来的に情報表示デバイスとなる可能性があります。テールランプの次世代技術として、欧州以外でも採用が広まると期待しています。

—他社との優位性を保つ秘訣は何ですか。

山邊 当社は、液晶ディスプレイの黎明期より、マザーガラス（板ガラス）の切断、面取り、研磨、精密洗浄・検査といった技術に関するノウハウを多く持ち、ディスプレイ技術の発展に貢献してまいりました。その結果、有機ELや車載用カバーガラス加工、さらには半導体製造工程など、幅広い分野の多様なニーズに柔軟に対応できる加工技術と、厳格な品質管理体制が、お客様から高く評価されていると自負しております。

技術を信じてあきらめない

—山邊社長はいつから経営に携わるようになったのですか。

山邊 これまで社長は何人が交代してきましたが、初代は創業者、その息子である渡邊会長が2代目、そして2018年に私が社長に就任しました。

私が入社したきっかけは、高校時代に当社でアルバイトを

したことです。入社後、20代半ばには仕事終わりにビジネススクールに通い始めました。会社に関する「数字」を理解することが、自分自身の成長につながると感じたからです。その頃から積み重ねてきた学びや意識が、今の経営姿勢にも反映されていると思います。

私は渡邊会長から本当に多くのことを学びました。とりわけ「自分たちの技術を信じ、決してあきらめない」という当社の基本姿勢は、今も変わらず会長自身が後進に伝え続けてくれています。

また、渡邊会長から「人との会話は落語から学びなさい」とアドバイスを受けたことをきっかけに、落語の寄席に足を運ぶようになりました。話芸としての落語が持つ奥深さに驚かされたことを覚えています。寄席には今でも通い続け、趣味の一つとなっています。様々な視点から仕事を考えるという、大事なことを教えてもらいました。

—技術の継承や人材育成は、経営において非常に重要なテーマですね。

山邊 技術教育の基本はOJTで学んでもらいますが、高精度な加工を可能にする「職人技」の継承は、そう簡単ではありません。若い人たちの感覚に合わせた工夫が必要だと感じています。向上心のある人は上達も早いですし、製造現場の仕事であっても、仕事以外の時間を有効に活用し、自らの知見を広げる努力ができる——そうした人材を育てられる会社でありたいと考えています。

最近では、人材育成の一環として、外部講師を迎えた研修を新たに開始しました。以前から取引のある大手企業で、品質保証部長を務められた方を招き、品質、安全、製造に関する研修をしていただいております。

また私自身は、長年付き合いのあるお客様や経営者仲間と共に食事を交えながら意見を交換し、利害を超えた幅広い学びを得ています。こうした人との出会いやご縁は今後大切にしていきたいと思ひますし、その経験は次世代にもしっかりと伝えていきたいです。



ガラスの面取作業工程

—最近の採用状況について教えてください。

山邊 中途採用も含めて途切れることがないように、採用を続けています。最近では文系・理系を問わず募集しています。製造現場で働く女性の採用も増え、昔に比べてずいぶんと雰囲気が変わりました。男女を区別するつもりはありませんが、女性の仕事ぶりはとても真面目で、とても助かっています。昨年度は、初めて2名の男性社員が育児休暇を取得しました。先例ができたことで他の人も取得しやすくなる、そんな効果も期待しています。

—健康経営にも熱心に取り組まれています。

山邊 当社は従業員の健康を重要な経営資源と考え、健康経営に積極的に取り組み、2023年から2025年まで3年連続で日本健康会議の「健康経営優良法人（中小規模法人部門）」に認定されました。また、全国健康保険協会（協会けんぽ）神奈川支部が推進する「かながわ健康企業宣言」に賛同し、2024年度には「健康優良企業（★4）」の認定を受けました。

70 周年を超えて次の一步へ

—社長就任から7年、意気込みをお聞かせください。

山邊 創業70周年を迎えたことを機に、新たな企業理念体系「MITSURU VISION」を策定しました。渡邊会長が築き上げてきた「従業員とその家族の幸せ」を重視する姿勢

をさらに進化させるため、会社の存在意義、信念、価値観をあらためて明確にし、新たな歴史を歩み始めています。

—従業員みんなが幸せになる会社、魅力的ですね。

山邊 それこそが当社のDNAであり、受け継がれ、引き継いでいくものと考えています。会社の規模を大きくするより、従業員が仕事を通じて自分の成長を実感できることを優先し、その手応えから生まれる幸せの輪を、家族やお客様にも広げてほしいです。

—複数の事業所間の交流はどのように取っていますか。

山邊 全社でおよそ120人が働いているため、コミュニケーションの取りやすい環境づくりに力を入れています。たとえば、約1年前から月1回「木鶏会」という会を始めました。私が愛読している月刊誌『致知』から記事を選び、それを読んで感想文を書き、社員同士で発表し合うものです。ほかの人の見方に触れて新たな気づきが生まれたり、意外な一面を知るきっかけになったりと、社員からの反響も大きく、手応えを感じています。

通常は事業所ごとに開催していますが、年に数回は事業所の垣根を越えてメンバーを入れ替えながら実施することもあります。そうした取り組みの中から「ありがとう」を言葉にして伝える運動が自然と広まり、社員の発案でロゴ入りバッジのデザイン・制作も行われました。



和やかな社風 秦野工場従業員と（中央右：山邊社長）

—面白い取り組みですね。

山邊 おかげさまで当社は定着率が高く、他社からの転職者も居心地の良い会社だと言ってくれる。技術やモノづくりには徹底的にこだわりますが、他人を気遣い、優しくできる人たちの集まりでありたい。「MITSURU VISION」にはそんな思いも込められています。個の力とチームワークを重んじる温かな企業を目指しています。

—直近の目標、先々の目標を教えてください。

山邊 コロナ禍をどうにか乗り越え、業績は安定していますが、直近の設備投資の費用がかさんでいるため、それをまかなった上で軌道に乗せたいです。将来的な目標としては、すでに購入済みの秦野中井事業所の隣地に工場を増設し、増産・増益につなげていくことが目標です。

—最後に趣味を教えてください。

山邊 神社仏閣巡りが趣味です。御朱印を集めるのも楽しみのひとつで、旅先では地元の神社仏閣に立ち寄ることが多いです。十数年前からは社の幹部一同で伊勢神宮にお参りしています。次は厳島神社にも行ってみたいです。

株式会社ミツル光学研究所

宮前区土橋2-1-6

電話 044-853-2818

■ profile

山邊 英彦 氏 (やまのべ ひでひこ)

1967年 東京都稲城市生まれ

1985年 (株)ミツル光学研究所 入社

2009年 同社取締役 就任

2018年 同社代表取締役社長 就任

bashment



▲弊社が主催するZ世代の女性に大人気のダンスジャンル「JAZZFUNK」限定のダンスショーケースイベント「JAZZFUNK BOX」。毎年11月開催。

「SUPER KIDS MAGA ▶ ZINE ALL JAPAN SUPER KIDS DANCE CONTEST」が発行するフリーペーパー。企画・撮影取材・編集・デザイン一式を請け負っております。



▲ カルッツかわさき主催「カルッツフェスティバル」ホールで行われるダンスエキシビジョンを企画制作。毎年3月開催。

◀ 世界最大規模のキッズダンス大会「ALL JAPAN SUPER KIDS DANCE CONTEST」決勝大会を川崎に誘致。弊社では、協賛営業や雑誌制作なども請け負っております。

(株)bashment [サービス業部会]

ダンスコンテンツを活かした各種企画制作を行うクリエイティブカンパニー

川崎区

弊社はHIPHOP MUSICとストリートダンスに特化した動画制作・雑誌WEB編集プロダクションです。2007年創業当時、ダンス専門会社が稀な中、レコード会社やアパレル、CM制作会社の要望に応え、ダンサーや振付師の派遣・キャスティング、ダンスコンテンツを活かした企業PR、イベント企画制作へと事業を多角的に展開してまいりました。

地元川崎では、カルッツかわさきの開館以来、様々なダンス企画を実施し、近年では「カルッツフェスティバルダンスエキシビジョン」の企画制作を担当。さらに、今年20周年を迎える小中学生向けダンス大会「ALL JAPAN SUPER KIDS DANCE CONTEST」の決勝大会をカルッツかわさきに誘致しました。全国70箇所以上の予選会、総勢14,000人超の出場者の中から日本一を目指すファイナリスト達が川崎に集結します。

ダンサーを起用したチラシ・ポスター制作や、ダンスコンテンツを活用した集客、若者への訴求、地域活性化イベントのプロデュースなど、お気軽にご相談ください。

■■■直近 2020 年代の一部実績■■■

- RIEHATA×BABY-G コラボ時計のプロデュース
- G-SHOCK PR ダンス動画制作
- BABY-G TikTok 立ち上げ提案・実施
- 向井太一「Special Seat」MV ダンサーキャスティング
- 布袋寅泰「Still Dreamin'」MV ダンサーキャスティング
- カルッツフェスティバル企画制作
- atmos pink ダンスプロジェクト立ち上げ提案・実施
- atmos pink 動画制作、オウンドメディア企画制作
- クリス・ブラウン「Loyal」【10周年記念 日本版 MV】の監修
- ALL JAPAN SUPER KIDS DANCE CONTEST 決勝大会を川崎に誘致
- OCTPATH「また夏に帰ろう」Dance Coordination

照会先

株式会社bashment
代表取締役 角 政光
TEL 044-567-8018
E-mail info@bashment.biz
URL http://bashment.biz



▲ホームページ ▲Instagram

このコーナーは会員の皆様にご利用いただくページです。



代表 中村 藍



出版書籍

◎提供サービス

- ・Web サイト・LP 用記事制作
(サービス紹介／採用ページ／
お客様の声／創業者様の思い
など)
※写真撮影も対応可(手配ま
たは簡易撮影にて応相談)
- ・パンフレット・会社案内など
紙媒体の原稿制作
- ・書籍執筆代行(創業ストーリー／
自叙伝 など)

◎こんなお悩みに

- ・Web サイトの文章が古く、今の
事業とズレている
- ・会社やサービスの魅力を言語化し
たいが、うまく書けない
- ・歴史や想いを「本」にして伝えたい
が、時間がない

ライティングオフィス SUDELU(スデル) [情報メディア部会]

採用ページ・パンフレット・創業ストーリー… 言葉ひとつで、あなたの事業にもっと信頼と共感を。

高津区

「うちの魅力、言葉でどう伝えれば…?」

そんなお悩みをもつ地域密着の企業や小規模事業者、
ひとり社長さまなどに向けて、原稿作成のプロが丁寧に
言語化をお手伝いします。

代表の中村藍は、教育・福祉・ビジネス分野を中心に
取材・執筆を行うフリーライター。教育現場で培った“伝
える技術”と“対話力”を活かし、複雑な内容も「伝わる
文章」に変換します。

ヒアリングから原稿制作まで一貫対応。お客様の言
葉にじっくり耳を傾け、核心を引き出します。

これまでに手がけた記事では、「言語化できなかった自
社の強みが明確になった」「自分たちの“らしさ”が言葉に
なっていて感動した」といったお声をいただきました。

ご用意いただくものは特にありません。

メールまたはお電話で、お気軽にご相談ください。

照会先

ライティングオフィス SUDELU
代表 中村 藍
TEL 090-2791-0694
E-mail ai.nakamura@tetote-tama.com
URL <https://ainakamura.edire.co/>



note



ポートフォリオ
サイト

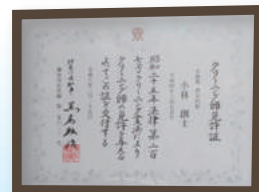
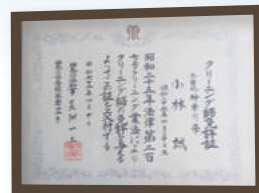


外観



小林夫婦（右：店主 左：奥様）

親子3代で営む
クリーニング店



（クリーニング師免許証）

小林クリーニング [サービス業部会]

「信頼と技術」で守る衣類。 配送連携パートナー様を募集中！

多摩区

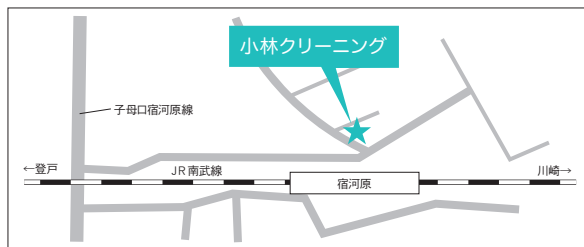
私たち小林クリーニングは、多摩区宿河原の地で創業してから60年以上、地域に根差した家族経営のクリーニング店として歩んでまいりました。

素材や形状の異なる多種多様な衣類に対応してきた経験と実績を活かし、「信頼」を第一に、丁寧な仕事を大切にしています。

現在は、丈の長い衣類にも対応できる立体乾燥機の導入をはじめ、機械設備の刷新を進めています。働きやすい環境作り、作業動線の見直しにも取り組んでおり、限られたスペースで効率的な生産性アップを目指しています。

また近年では、舞台衣裳をはじめとする業務用衣類のご依頼が増加し、配達件数も増えてきました。それに伴い、**都内・近郊へのスポット対応や時間指定対応など、柔軟な集配が可能な地域の運送業者様との新たな連携を希望しています。**

これからも「信頼される品質」と「地域とのつながり」を大切に、従業員一丸となってお客様の大切な衣類と真摯に向き合っています。



照会先

小林クリーニング
代表 小林 春雄
〒214-0021 多摩区宿河原4-22-32
TEL 0120-12-5884
↑運送業者募集に関するお問合せはコチラから
定休日 日曜日
営業時間 9時～18時

このコーナーは会員の皆様にご利用いただくページです。



(株)ダイオーズジャパン 神奈川セールスセンター [サービス業部会]

働き方改革のお手伝いをします！

市 外

社内でこんなお困りごとはありませんか？

- 「福利厚生を充実させたい」
- 「メンテナンスをしっかりとしたい」
- 「除菌対策を徹底したい」
- 「請求書を一本化させたい」

ダイオーズでは会社様向けのトータルサービスを行っております。皆様も働き方改革しませんか？

主な
商
材

- ウォーターサービス
これからの季節、熱中症対策に最適！
- コーヒーサービス
美味しいコーヒーでリフレッシュ！
- ティーサービス
お茶やスポーツドリンクも飲めます！
- グリーンサービス
観葉植物でリラックス！

気になるサービスがございましたらお気軽にお問合せ下さい！（無料お試し可能なサービスもございます。）



▲オフィス空間のご提案はすべておまかせください！

照会先

(株)ダイオーズジャパン 神奈川セールスセンター
マネージャー 濱本 龍馬
〒224-0053 横浜市都筑区池辺町4483-1
TEL 0120-023-456
E-mail k.iida@daiohs.co.jp

掲載ご希望の方は企画広報部 TEL 044-211-4112 まで、ご連絡ください。



変化を乗り越えるために、 経営者こそ「学び直す力」を

中小企業診断士・当所専門相談員 有村 知里

●「学んでいる経営者」の企業は成長している

「リスキリング」という言葉を聞いたことはありませんか?新しい環境に適応するために必要なスキルを習得する、いわゆる「学び直し」のことを言います。昨今、社員の学び直しが重要であるとも言われています。

経営を取り巻く環境は、速く大きく変わりつつあります。このような時代こそ、経営者自らが、変化に対応するための新しい知識やスキルを学ぶことが必要です。その根拠として、経営者が学び直しをしている企業は、売上高や付加価値額の変化率が大きいこともわかりました。経営者の学び直す姿勢が、自社の成長に影響しているのです。(2025年版中小企業白書より)

●学び続ける経営者がしていること

学び続ける経営者が具体的にしていることの例は、次のようなことです。

- ・書籍からの知識収集
- ・外部の勉強会やセミナーへの参加
- ・異業種の経営者との交流、ネットワーキング
- ・優良事例の視察

異業種交流会などのネットワーキングによって、他の経営者等から新たな発想を得ることや、成長意欲を高めるといふ刺激を受け、更に学び直すという行動につながり、好循環をもたらしているのです。

経営者は多忙ですから、まとまった時間を確保することが難しいと感じている方も多いことでしょう。何を学んだら良いのかわからない、あるいは、費用をかけることができないのも、学び直しに消極的になってしまう理由です。

しかしながら、見方を変えて、日々の少しの時間で、継続して学んでいってはどうでしょうか。オンライン講座を視聴してみる、ビジネス関連書籍を読むなど、方法は多岐にわたります。商工会議所のWEBセミナー利用や交流会なども一つの方法です。

●成長の壁を打破しよう

学び直しというと、プログラミングやAIといった技術的な話を想像する方も少なくありませんが、本来は「経営力」の再構築こそ優先するべきポイントです。

例えば、経営者においては「経営戦略」「リーダーシップ」「マーケティング思考」「IT活用」など、経営力の基礎になる分野について、学び直したいというニーズが高いのです。

学び続ける経営者の姿勢は、会社の風土にも影響し、社員の成長、育成につながっていきます。経営者の「学び直し」は、不確実性の高い時代において、経営力を高め、「成長の壁」を打破していくためのエンジンになっていくことでしょう。

あなたの企業をサポートします!

経営相談のご案内 [経営相談のご案内]

当所経営指導員や専門相談員(弁護士・税理士・中小企業診断士他)が、経営に関する悩み・ご相談にお応えします。お近くの本部・支所までお気軽にご相談ください!

このコーナーは、「儲かる! 商売に役立つ ワンポイント」と題し、商売に役立つヒント、便利な情報・制度などをご紹介します。日々のご商売に、ぜひお役立てください。

中小企業のための DX事例

ウイングアーク1st株式会社 データのじかん主筆 大川 真史

医師が自ら手掛ける現場のDX

今回は、医者が立ち上げたプログラミングスクール「もいせん（ものづくり医療センター）」の事例です。東京都足立区にある足立慶友整形外科の北城雅照医師が立ち上げた「もいせん」は、医療従事者がテクノロジーを学ぶことにより、自らの手で現場の課題を解決する力を育てる、日本初の医療者向けプロトタイピングスクールです。医師や看護師、リハビリ職など多様な医療従事者がプログラミングやIoT、AIなど幅広い技術を学び、自らの課題意識に基づいたツールを開発しています。

最大の特徴は、医療者自身が「現場目線」で課題を捉え、それに合った解決策を自らつくり出すマインドを醸成する点です。これまで医療現場のIT導入は、外部ベンダーにお願いすることが一般的でしたが、現場の実情に即していないサービスや細かなニュアンスが伝わりづらいという課題がありました。「もいせん」は、まさにそのギャップを埋める存在として誕生したのです。例えば、耳鼻科医が制作した「耳鳴りを可視化するLINEボット」は、患者が自分の症状をうまく伝えられないという課題を解決しようとしています。さらに、小児科領域では「頭をぶつけた子どもが病院に行くべきか迷う親向けの判断支援ボット」がつくられ、救急医

の知見が反映されています。理学療法士が開発した「歩行バランス測定ツール」は、IoTデバイスでリハビリ中の患者の重心や可動域を自動計測する仕組みで、評価作業の効率化に貢献します。また、「離れて暮らす家族を見守るIoTセンサー」は、遠方に住む高齢の両親の体調変化をLINEで通知することで、在宅介護の不安を軽減します。

開発した医療従事者の多くはプログラミング未経験で、受講をきっかけに開発の魅力に目覚め、卒業後も自らの制作活動を続けている受講生も多く、志を同じくする卒業生とのつながりを生み出すコミュニティとしての機能も持っています。ハッカソン（短期間でアイデアを形にする開発イベント）やDEMO DAY（成果発表会）などを通じて、学びを共有し合い、互いに刺激を受けながら成長していく姿が見受けられます。

医療者が当事者として現場を変える力を持ち始め、これからさらに現場にフィットしたDXが実現されていきます。中小企業の皆さまにとっても、業界や職種を問わず、「現場で働く人が自らデジタルを学び、つくり、使う」モデルとして、参考になる事例です。

（この事例は筆者取材時のものであり、現在では異なる場合があります）

広告募集中

地域に開かれた社員食堂が見せているもの

紀伊半島の南紀白浜空港（熊野白浜リゾート空港）のすぐそばにあるレストラン「くおり亭」を訪ねてきました。こちらは、クオリティソフトというIT企業の社員食堂で、一般の客も利用できるお店になっています。とても人気があり、私が訪れた時も、開店時間にはすでに10人ほどが行列をつくっていました。日替わり定食は700円で、白米のほか2種類の玄米やおかゆも選べ、メインディッシュとサラダ、小鉢、スープが付いています。全体的に健康に配慮した素材や味付けで、野菜や米などに地元食材がふんだんに使われています。利用している一般客は、地元のシニア層や女性の一人客、出張で当地を訪れたビジネスパーソンなど、さまざまです。時によっては、食堂の一角でランチタイムコンサートなどが開かれているそうです。

この食堂を運営するクオリティソフトは、セキュリティ管理ソフトなどを手掛ける1984年創業のIT企業で、白浜本社のほか、東京、大阪、仙台に支社を持っています。社員食堂がある本社は太平洋を見下ろす高台にあり、もともとリゾート保養施設だったというロケーションです。東京で創業しましたが、創業者の出身地である和歌山県熊野地域の白浜町に本社を移転し、社員食堂も置いたというわけです。

実は、白浜町はもともと温泉リゾート地として知られていますが、現在は「ワーケーションの聖地」と呼ばれています。自治体の強い後押しもあって環境を整備した結果、

セールスフォースや三菱地所など大手企業がいくつもサテライトオフィスを構えています。ワーケーションは、仕事（Work）と休暇（Vacation）を組み合わせた言葉で、普段の職場とは異なる場所で仕事をする働き方です。コロナ禍をきっかけにテレワークが普及したことで、広く知られるようになりました。

社員食堂を一般客にも開放するという試みは、全国各地で多く見られます。地元の食材を利用するだけでなく、料理の提供自体を地元の事業者が交代で受け持つといった例もあります。企業が工場や本社のある場所で、自社の商品を販売したり、製造現場を見せたりする施設を持つことは珍しくありません。ただ、社員も利用する場所を一般に公開する社員食堂と、商品を直売することや工場見学とは、役割や効果が違うと感じます。

直売店や工場は、あくまでも企業と顧客の接点であるのに対して、社員食堂は、企業とそこで働く人との接点です。つまり、自社の商品やサービスよりも、会社が従業員に対してどのような考え方をもち、それを具体的にどのような形で提供しているかを見せているといえそうです。

現在、ほとんど全ての業種業態で人手不足が問題になっています。大手企業であっても人材の確保と定着は避けて通れない課題です。開かれた社員食堂を通じた、一般社会への情報発信はとても大きな意味を持つと思います。

広告募集中

日本一の米どころ 食と芸術の越後妻有

大地の芸術祭、清津峡、里山現代美術館他

新潟県

十日町市、津南町



夏に嬉しい、ひんやりと涼しい高原のトンネルです。最後のカーブを曲がると、視界全体に日本三大渓谷、清津峡の自然美が広がりました。空の青さと森の緑が、ステンレスの天井と水盤に反射。実に宇宙的な光景です。思わず見惚れていると、爽やかな谷風が吹き抜けてゆきました。

今回のぶらり旅は、新潟県の十日町市を訪れました。隣接する津南町と合わせて、「越後妻有(うしろ)地方」と呼ばれ、日本有数の米どころ、そして豪雪地帯として知られています。

近年は「大地の芸術祭」と題し、美しい自然環境を利用したアートの展示が、地域の各所で通年行われています。越後妻有里山現代美術館「MonET」を中心に、その数は200点以上。商店街のアーケードや公園など、至る所で作品に出会えます。上掲の清津峡トンネルも、このアートの一つ。まさに芸術の街です。

日本を代表する国宝、火焰型土器が発掘されたのも、ここ越後妻有です。1999年に十日町市の笹山遺跡から、縄文中期(約5,000年

前)の土器・石器他が約一万点発掘されました。そのうち、実に928個の発掘品が国宝に指定されています。これほどの規模・質の発掘事例は他になく、国内では唯一のものです。この地方が古くから発展した、住み良い土地であったことがわかります。これらの発掘品の数々は十日町市博物館で観覧することができます。

美しい棚田が多いのもこの地域の特徴で、観光の目玉の一つとなっています。棚田は日当たりが良好で、昼夜の寒暖差が大きく、上質な雪解け水が豊富。さめ細やかな管理も可能となり、美味しいお米ができる要件が揃っています。名高い魚沼産コシヒカリの中でも、越後妻有米が格別の評価を受ける理由の一つです。

今回お邪魔した、どの食事どころもコシヒカリ推し。新潟の山海の美味から、お米に合うものばかりが揃っています。美味しいお米と水が揃えば、当然お酒も最高です。厳選された地酒とのマリアージュが楽しめました。



- アクセス 【電 車】川崎駅→東京駅→上越新幹線→越後湯沢駅→ほくほく線→十日町駅
【自動車】川崎→関越自動車道
- キャプション ①:清津峡トンネル。夏季(7/18~21, 8/1~17)は完全予約制。②:星峠の棚田。「孤独のグルメ」で主人公がコシヒカリのおにぎりを食した聖地。③:越後妻有里山現代美術館「MonET」。レオナルド・エルリッヒの大規模アート「空の池」。道の駅と併設で便利。④⑤:十日町温泉の宿の晩御飯。コシヒカリにピッタリの山海の美味&地酒が最高。⑥:日本を代表する国宝の一つ「笹山遺跡出土火焰型土器:指定番号1」。十日町市博物館「TOPPAKU」で展示中。(十日町市観光協会:☎025-757-3345)